

解剖学者とその書物からたどる「解剖学の歴史」

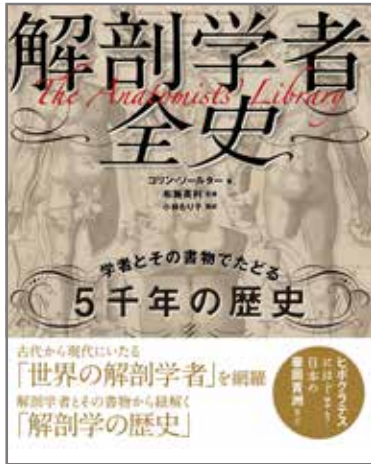
解剖学者全史

学者とその書物でたどる5千年の歴史

現代まで多くの学者が人体の神秘に魅せられ、時に狂乱ともいえる状況を巻き起こしながら、その解明に挑んできた。彼らの書物はいずれも、その時代、その場所で、人体がどのようにとらえられ、解剖学という学問が発展していったかを生き生きと伝える。

また、各書に掲載された図版にも大いなる価値がある。人体にメスを入れ、人体を間近で観察して図解した数々は、単純で図式的なものから、骨格や筋肉、脳、各種臓器の目を見張るような綿密な解剖図までバラエティーに富む。

なかにはデューラーやダ・ヴィンチら芸術家としても高名な「学者」たちの素描をはじめ、不気味な美をたたえる驚くほど洗練された芸術作品が含まれ、美術史の一端までも担う。解剖学書は、人体の内部のしくみを解明してきた解剖学や医学の変遷を物語るだけでなく、芸術や社会の発展までを包括してみせる貴重な書物なのだ。



A4変形 / 並製 / 272ページ /
定価：本体 3,900円（税別） /
ISBN 978-4-7661-3832-0 C0076



ヒポクラテスにはじまり
日本の華岡青洲など
古代から現代にいたる
「世界の解剖学者」を網羅

書店印

新刊

書名

注文数

解剖学者全史
学者とその書物でたどる5千年の歴史
コリン・ソールター 著
ISBN 978-4-7661-3832-0 C0076
定価：本体 3,900円（税別）

冊